

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
藤沢地区

平成29年3月

神奈川県藤沢市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4 - 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	来街者数	人/日	63,500	63,500	79,800	確定			あり	-	83,400	H28年11月	-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	道路整備による地区内を回遊するネットワークの強化や、電線類の地中化、平板ブロックやボラードの設置により安全で快適に通行できる空間整備に加え、エスカレーター整備事業の完了に伴い、利便性・快適性が向上したことから、賑わいや人の流れが創出された。
指標2	広域避難場所までの移動時間	分	30	24	24	確定			あり	-	-	H 年月	-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	道路整備により、藤沢駅から広域避難場所(翠ヶ丘公園)への避難が短時間で可能となった。また、電線類の地中化や高低差の解消により、障害の少ない避難経路としたことで避難を安全に、円滑に行えるようになった。
指標3						確定			あり			H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
指標4						確定			あり			H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	
指標5						確定			あり			H 年月		改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

様式4 - その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	藤沢駅北口の自転車等収容台数	台	2893	/	3,362	確定	/	/	-	H 年月	/	-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	地域の駐輪需要に応えるとともに、自転車走行空間の整備により、自転車利用の利便性が向上した。
その他の数値指標2	藤沢商工会館の会議室等の利用実績	件・人	1,632件 43,699人	/	2,011件 58,261人	確定	/	/	-	H 年月	/	-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	道路整備により藤沢商工会館の利便性・拠点性が向上し、施設の利用件数や利用者数が増加した結果、賑わいや人の流れが創出されている。
その他の数値指標3	藤沢駅北口へのバス所要時間の短縮	分	6.8	/	2.8	確定	/	/	-	H 年月	/	-	改善策はそのまま改善策に補強が必要新たに改善策をたてる	道路整備により藤沢駅へのバス所要時間が短縮され、アクセス性が向上し来街しやすくなったほか、まちづくりにおける環境負荷低減に貢献した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2- から転記 全ての指標について記入

フォローアップの必要のある指標について記入

全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4 - 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5 - に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	駅周辺のさらなる賑わいの創出、回遊性の強化	・特殊街路(歩行者専用道路)において、滞留施設やイベントに対応可能な空間の整備を行った。(現在計画中の北口デッキも同様) ・特殊街路(歩行者専用道路)や北口デッキの再整備内容等について、定期的にインターネット等を通じて市民に周知した。	・市民の関心が高まり、特殊街路(歩行者専用道路)の愛称を募集した結果、88件の応募があった。 ・特殊街路(歩行者専用道路)整備後は多くの歩行者が見られる。	・平成29年度以降、特殊街路(歩行者専用道路)において、イベント等ソフトの取組により、賑わいの創出、回遊性の強化の実現を図る予定である。(北口デッキも再整備後に実施予定)
	安全・快適な歩行空間の活用	・特殊街路(歩行者専用道路)において、舗装材や照明の工夫により、歩きやすくかつ夜でも安全な歩行空間を整備した。 ・放置自転車等防止に向けた、自転車利用者への周知活動を継続するとともに、巡回点検時の放置自転車撤去作業の回数を強化した。	・整備の結果、特殊街路(歩行者専用道路)は多くの歩行者が見られる。 ・放置自転車等防止の巡回点検強化により、安全・快適な歩行空間が保たれた。	・エリアマネジメント活動等により、安全・快適な歩行空間の維持を図る予定である。 ・引き続き、自転車利用者への周知活動や巡回点検を実施予定。 ・整備予定の交通広場においても、安全・快適な歩行空間の実現を目指す。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	藤沢駅南北地域の連携強化	・地下通路高質化の実現に向け、整備内容や活用方策を検討中である。	-	・藤沢駅南北自由通路の拡幅及び地下通路の高質化(ハード整備)と合わせた、ソフトの取組を検討予定。
	北口地域全域への賑わいの波及	・藤沢駅北口南北線(仮称)の拡幅整備の実現に向け、地権者交渉を実施中である。	-	・実現に向け、早期の地権者合意形成に努める。
	藤沢駅の利便性の向上	・地下通路高質化の実現に向け、整備内容や活用方策を検討中である。 ・現在計画中の北口デッキにおいて、エスカレーター、休憩・待ち合わせ空間を確保した。	-	・地下通路の高質化、エスカレーター整備等により、藤沢駅の利便性の向上の実現を図るとともに、エリアマネジメント活動等により、休憩・待ち合わせ空間の快適性の維持に努める。
	防災機能の強化	・緊急、災害時の活動拠点となる、新庁舎を建設中である。	-	・新庁舎完成後は、一時避難者・帰宅困難者の受入等防災機能が円滑に機能出来るように努める。

事後評価シート 添付様式5 - から転記

様式4 - フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
-	-	-	-